

神戸大学混声合唱団 アポロン

第50回記念定期演奏会

1st Stage

混声合唱組曲「光る刻」

作曲：木下 牧子

指揮：田輪 周一

客演ピアノ：前田 裕佳

2nd Stage

OBOG合同斉田好男退官記念ステージ

Messa di Gloria より “Gloria”

作曲：Giacomo Puccini

客演指揮：斉田 好男

オーケストラ：明石フィルハーモニー管弦楽団

テノール：松本 薫平(客演)

3rd Stage

無伴奏ミサ曲アラカルト

指揮：藤森 文之

4th Stage

委嘱作品初演ステージ

混声合唱とピアノのための 三つのバラード

作曲：信長 貴富

作詩：蓬萊 泰三

客演指揮：斉田 好男

客演ピアノ：平林 知子

2012年
12月8日(土)

兵庫県立芸術文化センター

KOBELCO 大ホール

開場 16:30 開演 17:15

入場料：S席1500円 A席1000円

全席指定

チケット購入方法など詳しくは公式ホームページまで

アポロン公式HP <http://home.kobe-u.com/apollon/>

問い合わせ先 敦賀 薫 080-5323-6290 (渉外)

チケット取扱 芸術文化センターチケットオフィス 電話：0798-68-0255
(10:00AM~5:00PM 月曜休み※祝日の場合翌日)

未就学児の入場はご遠慮下さい

後援 関西合唱連盟 兵庫県合唱連盟 関西学生混声合唱連盟 神戸大学文化総部



1st Stage

混声合唱組曲「光る刻」

I 老いた狐 II もぐら III 鹿 IV 象

「光る刻」は動物の「孤独と死」をテーマにした4編の詩をテキストとした合唱作品です。この組曲には悲しい、寂しい死の姿だけでなく、死を目前にした動物たちの生の力強さを感じます。それぞれの詩が独自の世界観を持ち、曲がそれを色彩感豊かに投影します。4つの異なる死の姿、生の重みをお届けします、お楽しみ下さい。

2nd Stage

OBOG合同斉田好男退官記念ステージ Messa di Gloria より “Gloria”

アポロンの歴史の中で初めての、OBOGと現役団員との合同でのステージです。積み重ねてきた脈々たるアポロンの伝統やつながりを昇華しステージで表現します。

覚えやすく美しい旋律やクライマックスのユニゾンなどブッチーニらしさに溢れる、節目を飾るのにふさわしい華々しい曲です。200人超の合唱とオーケストラの迫力をお届けします。

3rd Stage

無伴奏ミサ曲アラカルト

Rihards Dubra / Missa simplex
Josef Gabriel Rheinberger / Messe in Es より
Ugis Praulins / Missa Rigensis より

合唱の歴史を語る上で、宗教音楽ははずすことのできない役割を担ってきました。このステージでは宗教音楽の中でもミサ曲に絞り、いくつかの作品を取り上げます。

R.Dubraの“Missa simplex”は短くまとめられていますが、逆に余計なものをそぎ落としミサの祈りの本質に迫っています。

ロマン派の作曲家RheinbergerのCredoと現代作曲家のPraulinsのSanctus-Agnus Deiはどちらもドの音から始まります。時代の移り変わりによる作風の違いを、そしてそのむこうに共通する祈りの気持ちをお伝えできればと思います。

4th Stage

委嘱作品初演ステージ 混声合唱とピアノのための三つのバラード

I 赤いヒナゲシ II 少年 III ゆき

第50回記念委嘱作品として、蓬葉泰三・信長貴富両先生の全く新しい作品である「3つのバラード」をお送りします。

信長先生に新作をお願いしたところ、たつての希望で蓬葉先生に作詩をしていただきたいということで、この作品が誕生しました。

三曲それぞれに物語があり、それは単純な成功譚などでは決してありません。影と光、絶望と希望、相反するものが絡み合っています。

このようなくらしい話題も多い時代ですが、それでも一筋の光を見いだせますように、この作品をお届けできれば、と思います。

この度、神戸大学混声合唱団アポロンは記念すべき50回目の定期演奏会を開催する運びとなりました。団員はもちろん、諸先生方やOBOGとも力を合わせて、皆様にお楽しみいただけるような素晴らしい音楽をお届けいたします。是非とも皆様お誘い合わせの上、演奏会に足をお運びください。出演者一同、心よりお待ち申し上げます。

客演指揮

斉田 好男



武蔵野音楽大学大学院修了。オペラを中心に幅広いレパートリーを持つ。合唱ではモーツァルト「レクイエム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等の管弦楽付き作品、また木下牧子「邪宗門秘曲」、千原英喜「銀河の序」、信長貴富「讃歌」等、委嘱作品の初演でその真価を発揮している。著書『はじめての指揮法』（音楽之友社）。日本指揮者協会、日本演奏連盟、日本合唱指揮者協会。兵庫県合唱連盟理事長、明石フィルハーモニー管弦楽団指揮者、他関係団体多数。神戸大学名誉教授。2009年兵庫県文化功労賞受賞。

テノール

松本 薫平



東京芸術大学卒。イタリア声楽コンクールテノール特賞、摂津音楽祭金賞及び大阪府知事賞、宝塚ベガ音楽コンクール第3位、松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、神戸市文化奨励賞など多数。オペラは「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビューし、その他多くのオペラの主役を務めている。現在、神戸女学院大学准教授、京都市立芸術大学講師。関西二期会会員。

客演ピアノ

平林 知子



京都市立堀川高校音楽科（現・京都市立京都堀川音楽高校）を経て、京都市立芸術大学音楽部ピアノ専攻を卒業。ピアノソロやデュオでリサイタルを開催した他、声楽・弦・管・打楽器など、あらゆるスタイルのアンサンブルや伴奏で多数の演奏会に出演。またFM放送やCD録音にも参加。特に合唱との共演では、関西を拠点として演奏会やコンクール、講習会などに多数出演。新作初演に関わる事も多く、各地に活躍の場を広げている。

前田 裕佳



神戸大学発達科学部 人間行動表現学科 音楽表現論卒業。同大学院修了。在学中2年間渡仏し、パリ・エコールノルマル音楽院（ピアノ科）にて、ディプロムを授与される。第20回テグ国際現代音楽祭に招かれ自作曲を演奏する。現代音楽を中心としたコンサート、室内楽、合唱等の伴奏も多数行う。ピアノを、佐野彰子女史、坂東肇氏、Odile Delangle女史に、室内楽をNina Patarcec女史に、作曲を田村文生氏に、指揮法を斉田好男氏に師事。神戸大学非常勤講師。

Webによるチケット申込みは11月23日（金）までとなっております。

それ以降にチケットをお求めの方はお問い合わせ下さい。

チケットを紛失された場合、こちらでは責任を負いかねますのでご了承下さい。